w000000	［中間区］　表紙（概要）	概要　適用
 w000001）中間浜を前に、後に七五岳 1488m がそびえる中間集落		【概要】 ・屋久島の南西部に位置する集落。 ・１２２世帯　２２０人　（平成２８年７月末日） ・集落のシンボルとなっている七五岳 1488m から流れる中間川の河口近くに開けた集落で、中間川河口の中間浜に面している。 ・冬には季節風が吹くが温暖な気候に恵まれており、屋久島では雨量の少ない地域である。 ・山が海に迫っており、河川の谷も深いので平地が少ない。 ･浜に面した河川沿いは採取生活には適地で縄文土器が出土しており、古くから暮らしの場所になっていたと思われる。 ・地名の初出は江戸初期の屋久島大絵図である。（文献①） ・享保１１年/1726 年に 76 人居住、カツオ船１艘、馬５頭の記録がある。（文献①） ・西隣の栗生の分村といわれている。 ･昔は漁業も盛んだったと思われるが、その後は森林に関わる仕事が主であった。 ･中間川沿いの緑やガジュマルのアーチ、中間浜など自然環境に恵まれた暮らしのたたずまいが集落の特徴になっている。 【文献・資料】 ①　屋久町郷土史第１巻村落誌上 ②　区長他、住民の聞取り 【写真】

	w000001)中間浜を前に、後に七五岳 1488m がそびえる中間集落。 【中間項目】 w001001 自然　中間川とガジュマル・アコウ　←リンク w001002 自然　中間浜とウミガメ　←リンク w002001 伝統行事　中間神社大祭　←リンク w002002 伝統行事　十五夜綱引　←リンク w002003 伝統行事　鬼火焚き　←リンク w002004 伝統行事　七五岳参り　←リンク w003001 民俗芸能　十五夜綱引「口説き」　←リンク w003002 民俗芸能　祝い舞（中間神社奉納舞）　←リンク w004001 名所旧跡　ガジュマルアーチ　←リンク w004002 名所旧跡　中間神社　←リンク w004003 名所旧跡　森山大明神　←リンク w005001 暮らし　村の風景　　←リンク w005002 暮らし　公共共同施設　←リンク w006001 産業　茶栽培　←リンク w006002 産業　黒糖づくり　←リンク w006003 産業　観光農業　←リンク w007001 事業　里巡り　←リンク w007002 事業　敬老会　←リンク w007003 事業　むらづくり運動会　←リンク w007004 事業　中間夏祭り　←リンク